

Welcome to YMBA @ Toyo



東洋大学仏教会・仏教青年会「忘年会」のお知らせ

開催日:平成29年12月26日(火)

第一部<インドと日本の邂逅>(入場無料)

15時50分開場16時00分開演

場所:(公財)仏教伝道協会 仏教伝道センタービル8F「和」

第二部<平成29年度東洋大学仏教会・仏教青年会忘年会>

17時45分開場18時00分開宴(学生3000円、一般4000円 ※仏教会からの補助後)

場所(公財)仏教伝道協会 仏教伝道センタービル2F レストラン菩提樹

森山 繁 Shigeru Moriyama or シゲジ Shigerji(タブラ)

東京出身。1991年に来日したパキスタンのカッターリー(イスラム宗教歌)歌手ヌスラット・ファテ・アリ・カーン(Nusrat Fateh Ali Khan)の公演を目にし、インドやパキスタンなどインド亜大陸の音楽をはじめ文化全般に興味を持つ。1992年にインド音楽を中心にインド美学を研究するため、東洋大学文学部インド哲学科に入学。

1995年にタブラ習得のため、同大学を休学し渡印。翌1996年帰国。1997年に同大学を卒業後、パナラス(ベナレス)に移住。ラッチュー・マハラージ氏(Pt. Lacchu Maharaj)に古典タブラ演奏法を主に、現在に至るまで師事。パナラス・ヒンドゥー大学を卒業したのち帰国。現在は日本全国でライブでの演奏のみならず、数々のセッションワーク・レコーディングに参加、活動中。インド大使館インド文化センター・タブラ講師、特定非営利活動法人南アジア文化協会 理事長。



島田 博樹 Hiroki Shimada(エスラジ)

東京出身。西洋クラシックとジャズの作曲とコントラバスを経験した後、インドのカルカッタでタブラとカタクを学習。帰国後、2000年から中村仁氏にエスラジを師事する。2007年から都内のライブハウスなどでエスラジを演奏し始める。現在、北インド古典音楽を中心に様々な民族楽器とのコラボ、オリジナルの作曲や演奏をしている。



仲林 光子 Mitsuko Nakabayashi(箏)

4歳より母・鈴木いね子から箏の手ほどきを受ける。15歳より地歌、箏曲を小野衛氏、みさと笛を山川直春氏に師事。古典から現代曲まで学ぶ。40代から60代にかけて神田囃子、薩摩琵琶を習得。幅広いジャンルの邦楽を知る事で、創作活動に力を得ている。母より継承した「箏曲七声楽院」を娘の利恵と共に主宰し、後進の指導に当たっている。また、NHK前橋文化センター篠笛教室講師を23年勤め、東京都中央区阪本小学校の授業での指導を10年勤めている。さらにTBS子ども音楽コンクールに自作の曲で出場し、多数受賞している。

仲林 利恵 Rie Nakabayashi(箏、箏)

幼少の頃より母・仲林光子から、篠笛(みさと笛)と箏の手ほどきを受ける。篠笛と能管を鳳声晴由氏、箏を小笠原節氏、江戸神楽を駒崎豊次氏、神田囃子を小林一奏氏、葛西囃子を矢作伸二氏にそれぞれ師事。1995年NHK邦楽技能者育成会卒業。日本の伝統音楽をはじめ、西洋、インドの楽器など、様々な分野の演奏家と共演し、コンサート活動を行っている。また、祖母である鈴木いね子が創立した「箏曲七声楽院」の3代目として2代目・仲林光子と共に後進の指導、学校公演等で活動している。」

仏教伝道協会へのアクセス方法:

JR田町駅 三田口(西口)より 徒歩8分あるいは
都営地下鉄三田線、都営地下鉄浅草線
三田駅 A9番出口より 徒歩2分



予約は鈴木まで:s41201600026@toyo.jp